

二級河川 志登茂川

平成21年度

第3回

三重県河川整備計画

流域委員会

平成21年7月28日

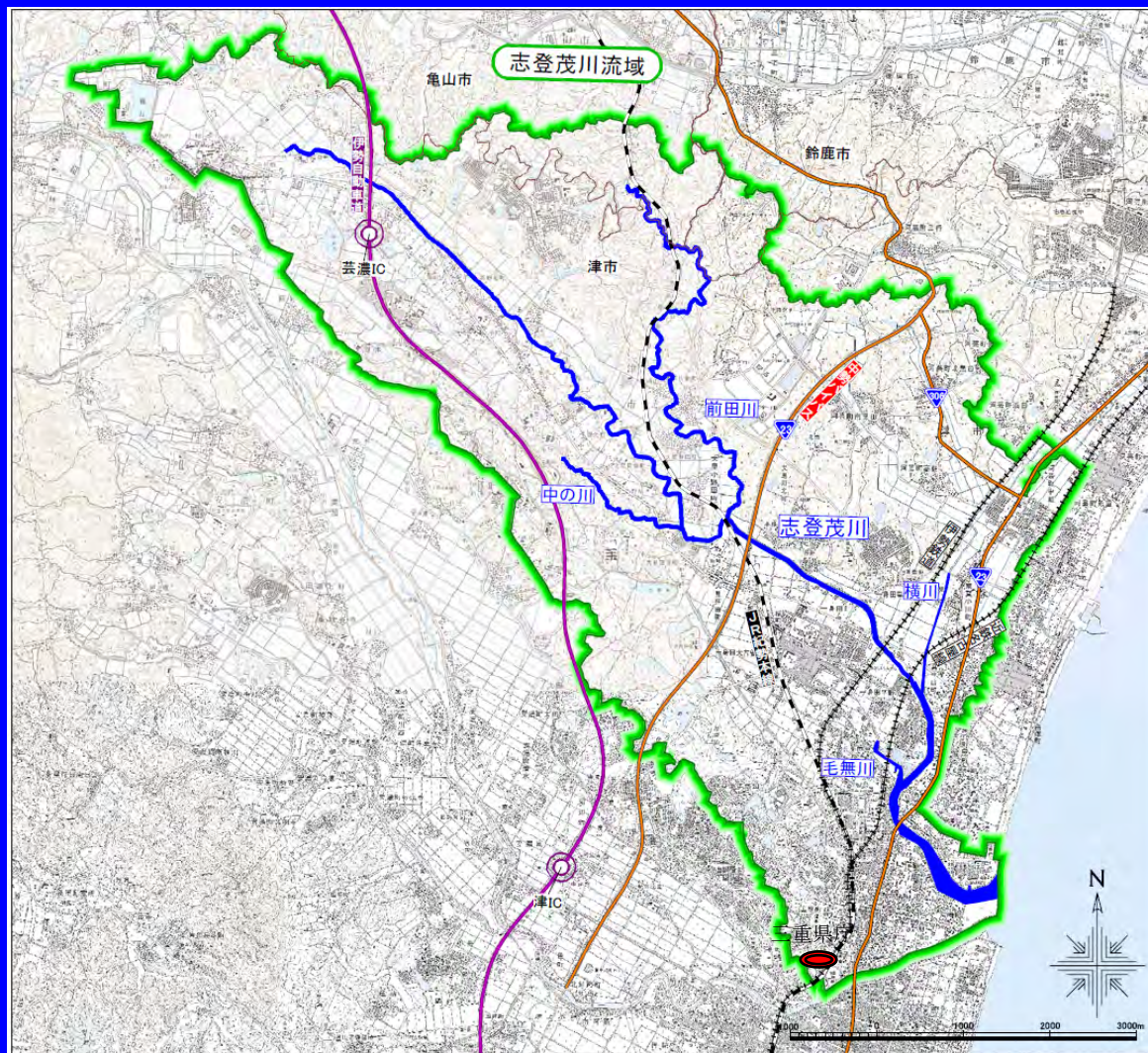
三重県

本日の議題

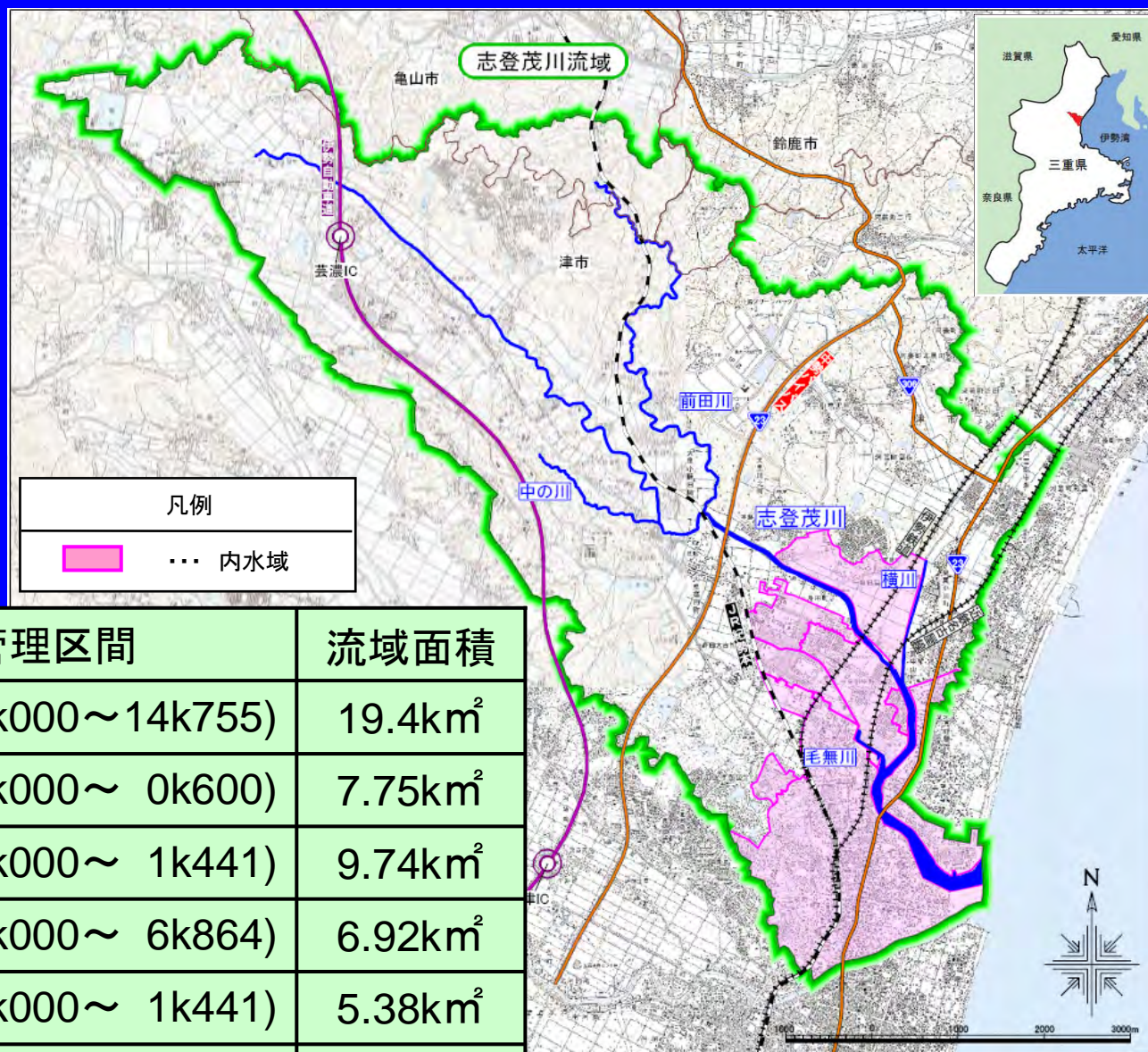
- 流域の概要
- 主要洪水の概要
- 現行計画と整備状況
- 河川の現況
- 河川環境の概要

志登茂川流域の概要(位置)

- 関係市： 津市（山地の一部に亀山市、鈴鹿市）
- 主要交通網： （道路）国道23号、伊勢自動車道
（鉄道）JR紀勢本線、近鉄名古屋線、伊勢鉄道



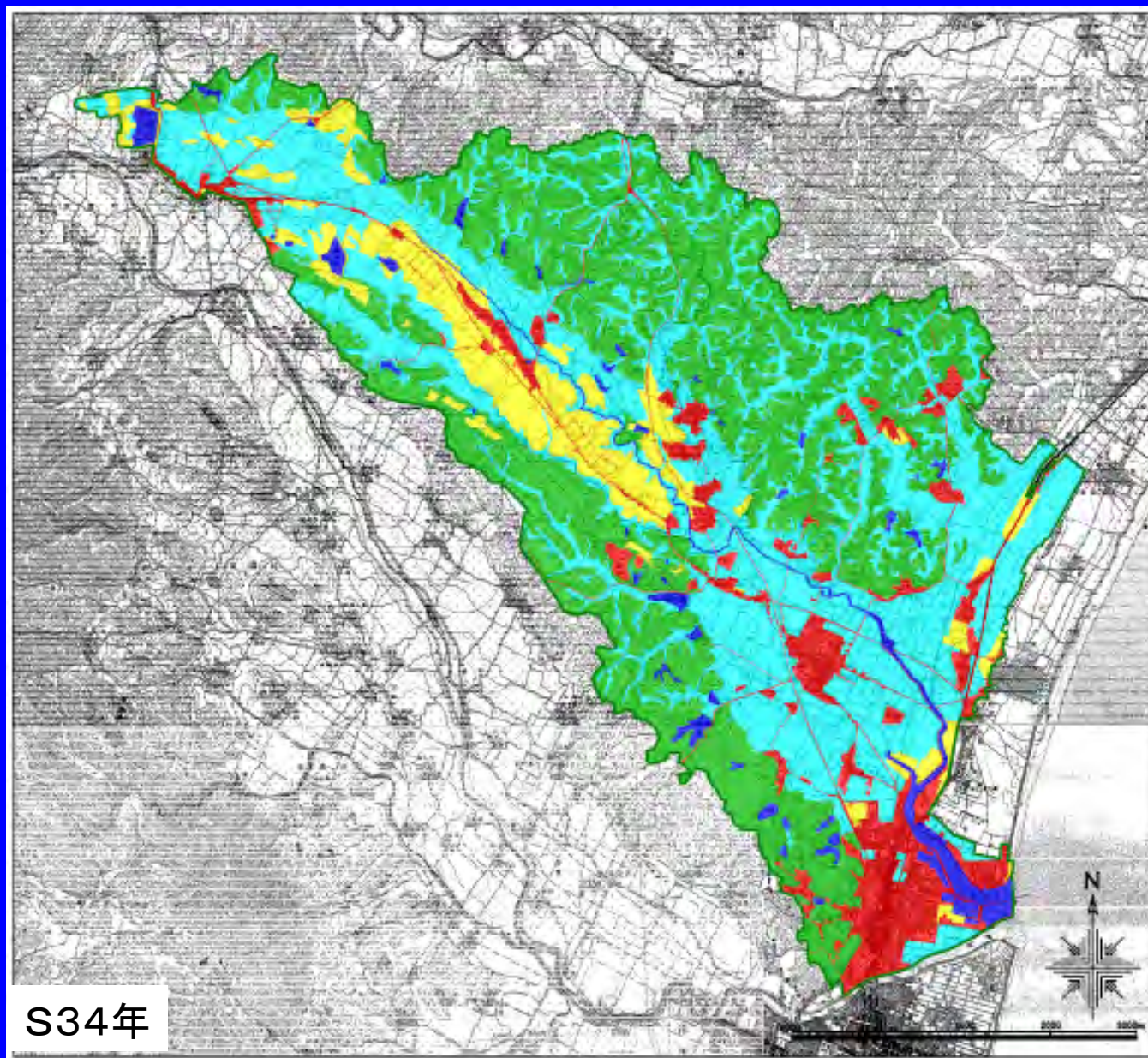
志登茂川流域の概要(諸元)



	県管理区間	流域面積
志登茂川	14,755m(0k000～14k755)	19.4km ²
毛無川	600m(0k000～ 0k600)	7.75km ²
横川	1,441m(0k000～ 1k441)	9.74km ²
前田川	6,864m(0k000～ 6k864)	6.92km ²
中の川	1,441m(0k000～ 1k441)	5.38km ²
	流域面積 (内水域)	49.19km ² (8.14km ²)

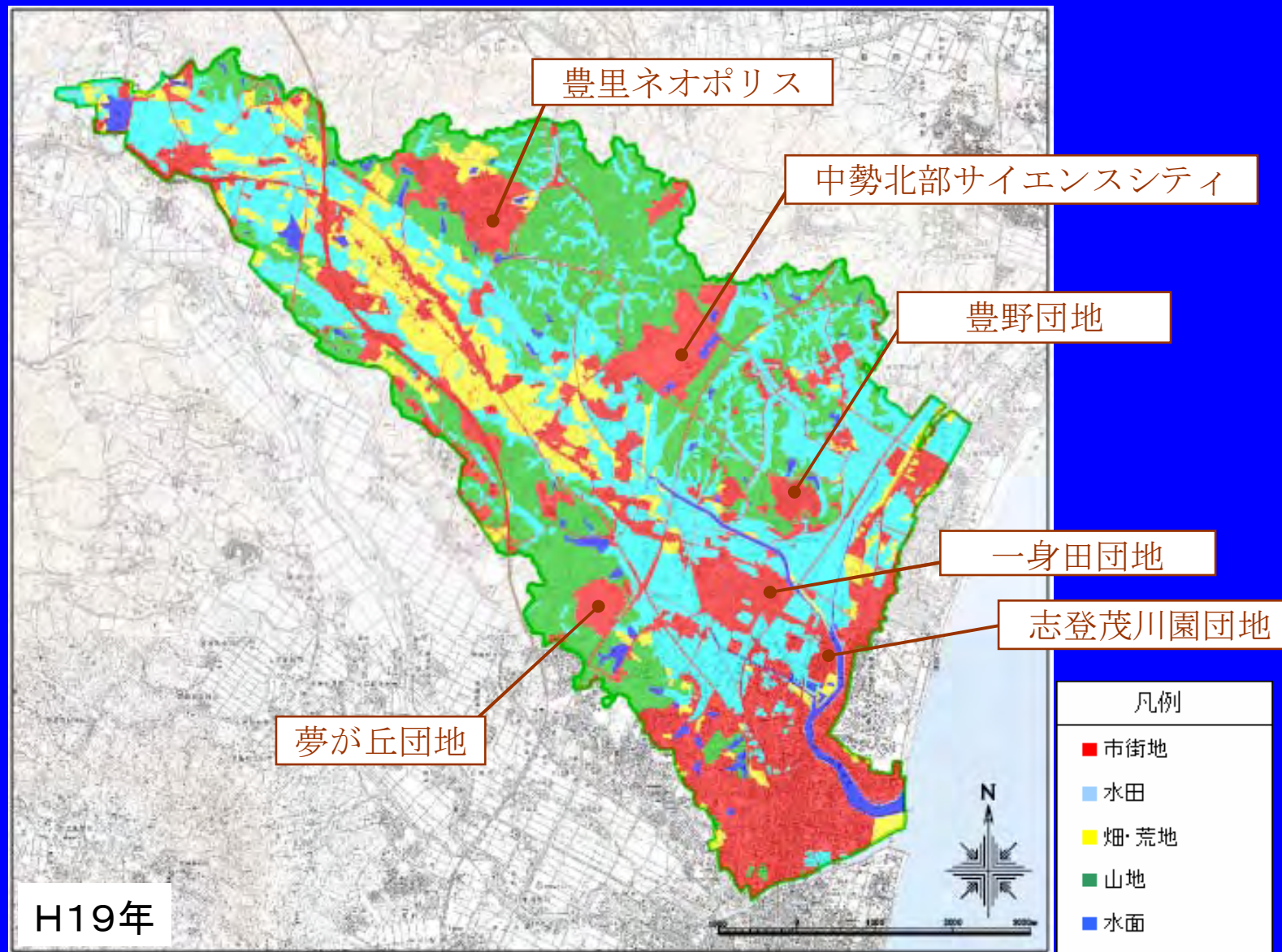
土地利用状況(昭和34年)

- S34年における流域内の主な土地利用は、水田、山地



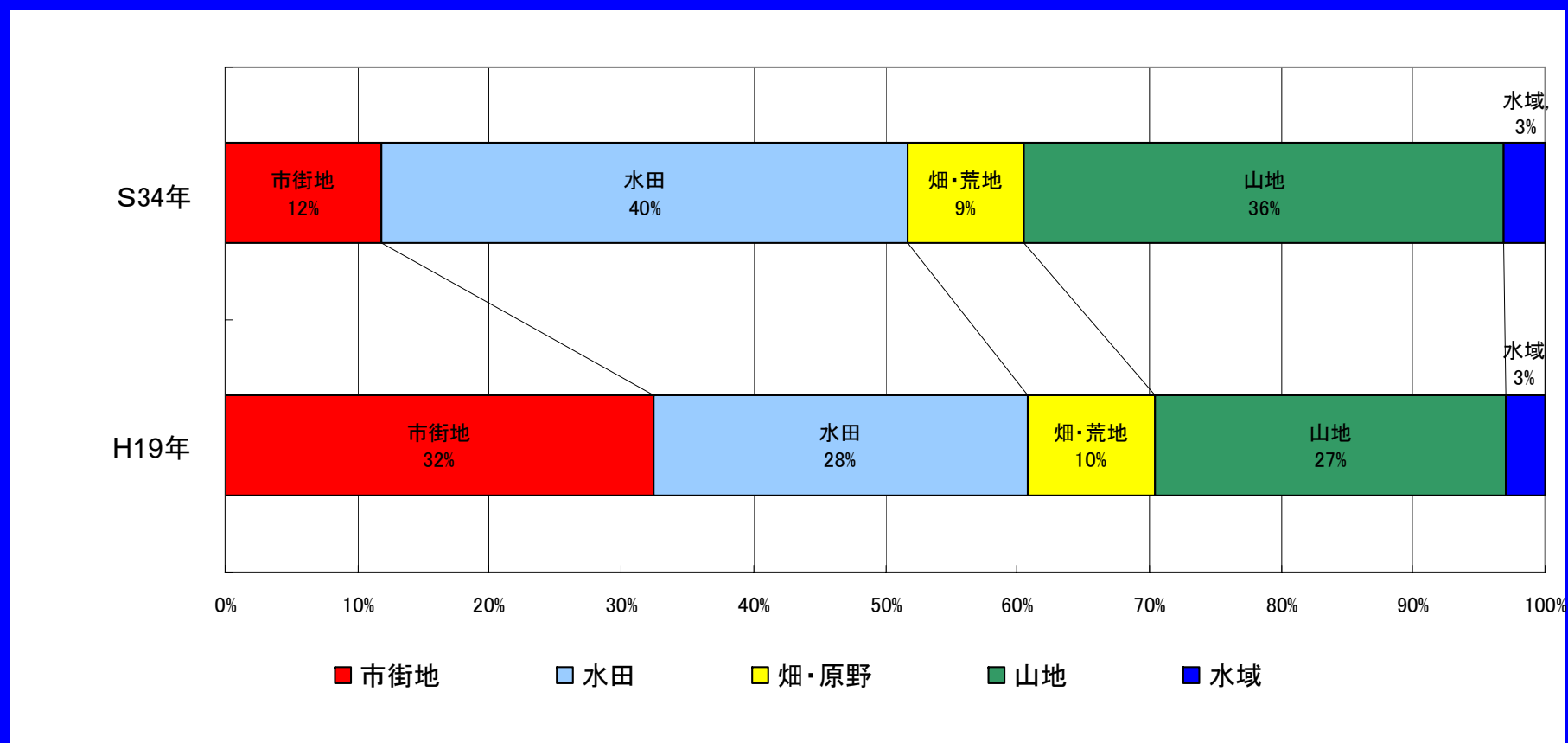
土地利用状況(平成19年)

- 流域内の主な土地利用は、水田、山地、市街地
- 丘陵地や水田にて大規模な開発が行われている



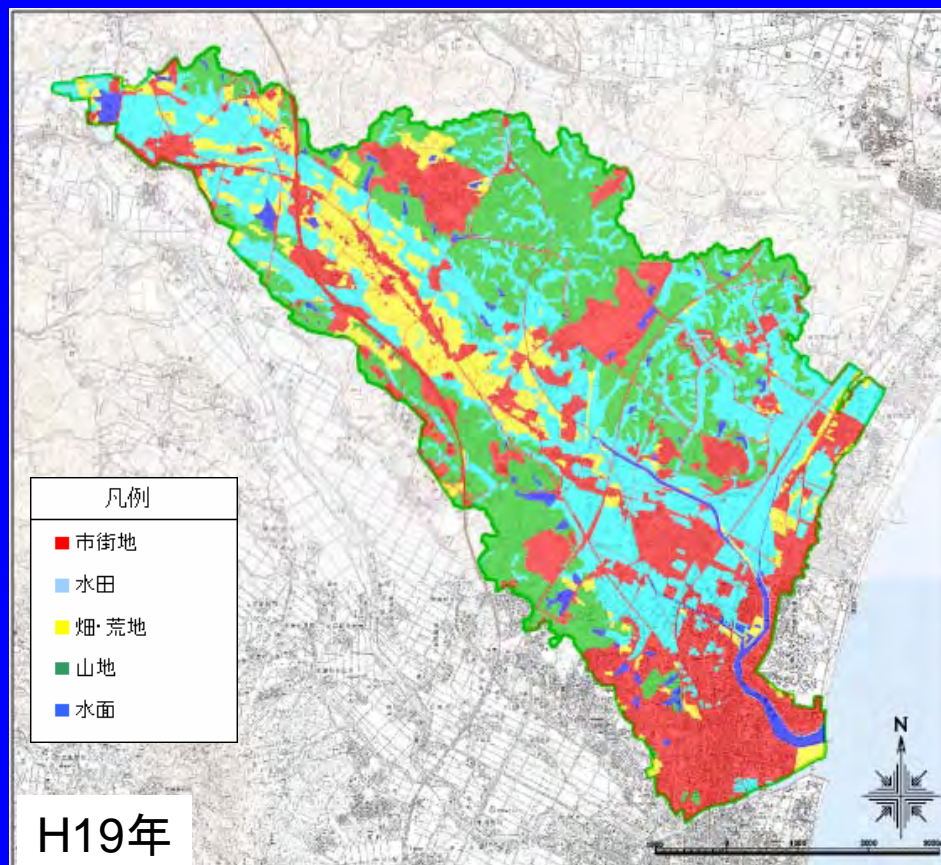
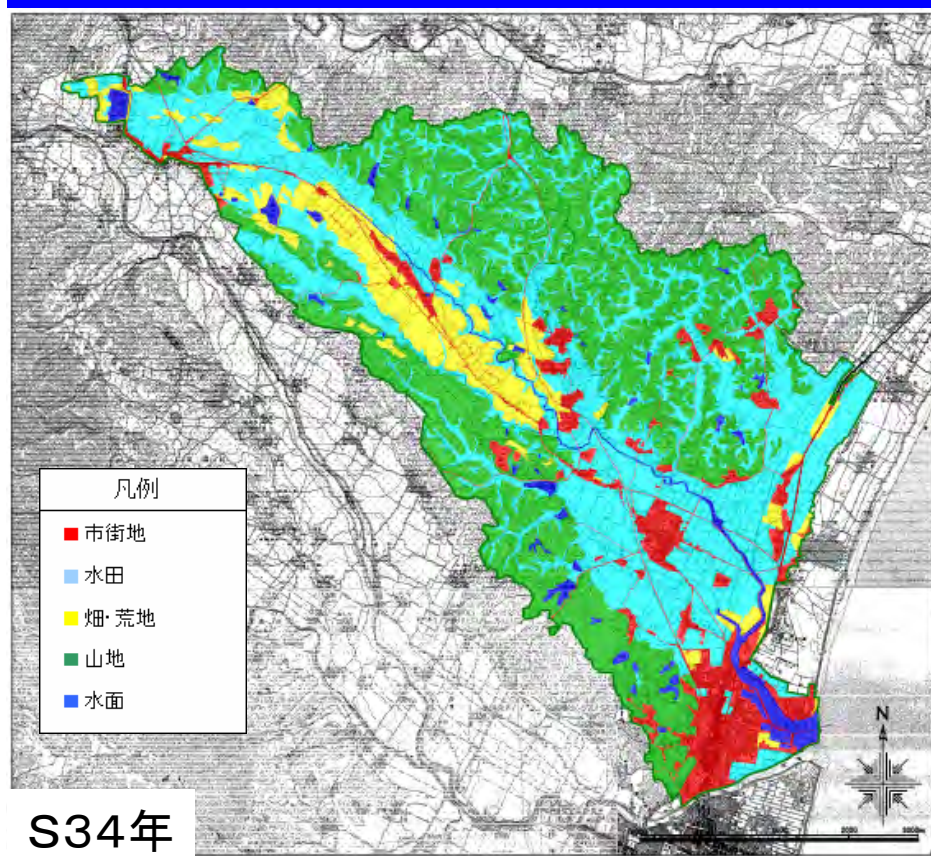
土地利用状況

- S34年時点では、主な土地利用は、水田、山地でそれぞれ4割程度
- H19年時点では、主な土地利用は、水田、山地、市街地でそれぞれ3割程度
- S34年～H19年において、市街地の割合が大きく増加



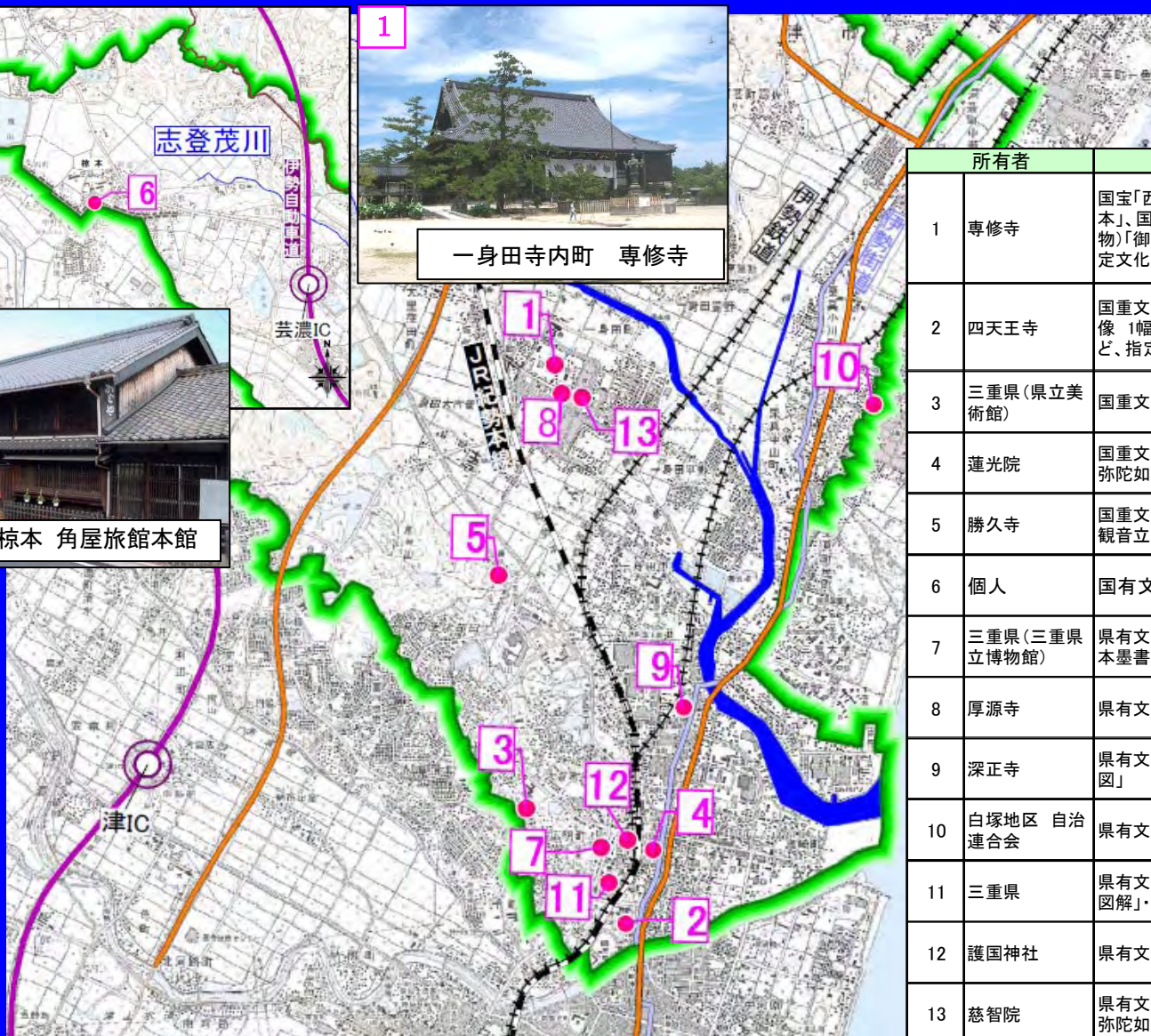
土地利用状況

- S34年～H19年において、土地利用状況は急激に変化



流域の文化・史跡状況

- 古くは伊勢街道が流域内を南北に縦断



所有者		所有文化財
1	専修寺	国宝「西方指南抄 親鸞筆 附覚信筆直門弟書写本」、国宝「三帖和讃 親鸞筆」、国重文(建造物)「御影堂」、史跡・名勝「専修寺庭園」など、指定文化財39点。
2	四天王寺	国重文(絵)「絹本着色藤堂高虎像 附 同夫人像 1幅」、国重文(彫)「木造薬師如来坐像」など、指定文化財6点。
3	三重県(県立美術館)	国重文(絵)「旧永島家襖絵」
4	蓮光院	国重文(彫)「木造大日如来坐像」および「木造阿弥陀如来坐像」
5	勝久寺	国重文(彫)「木造大日如来坐像」および「木造聖観音立像」など、指定文化財5点
6	個人	国有文(建)「角屋旅館本館」
7	三重県(三重県立博物館)	県有文(絵)「絹本着色羅漢図」、県有文(書)「紙本墨書古文書」など、指定文化財4点
8	厚源寺	県有文(彫)「木造聖徳太子立像」
9	深正寺	県有文(絵)「絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図」
10	白塚地区 自治連合会	県有文(彫)「銅造如来立像」
11	三重県	県有文(工)「津綴子肩衣」、県有民「三重県水産図解」・「三重県水産図説」
12	護国神社	県有文(工)「刀銘 濃州御勝山住藤原永貞」
13	慈智院	県有文(建)「慈智院本堂」、市有文(彫)「木造阿弥陀如来坐像」

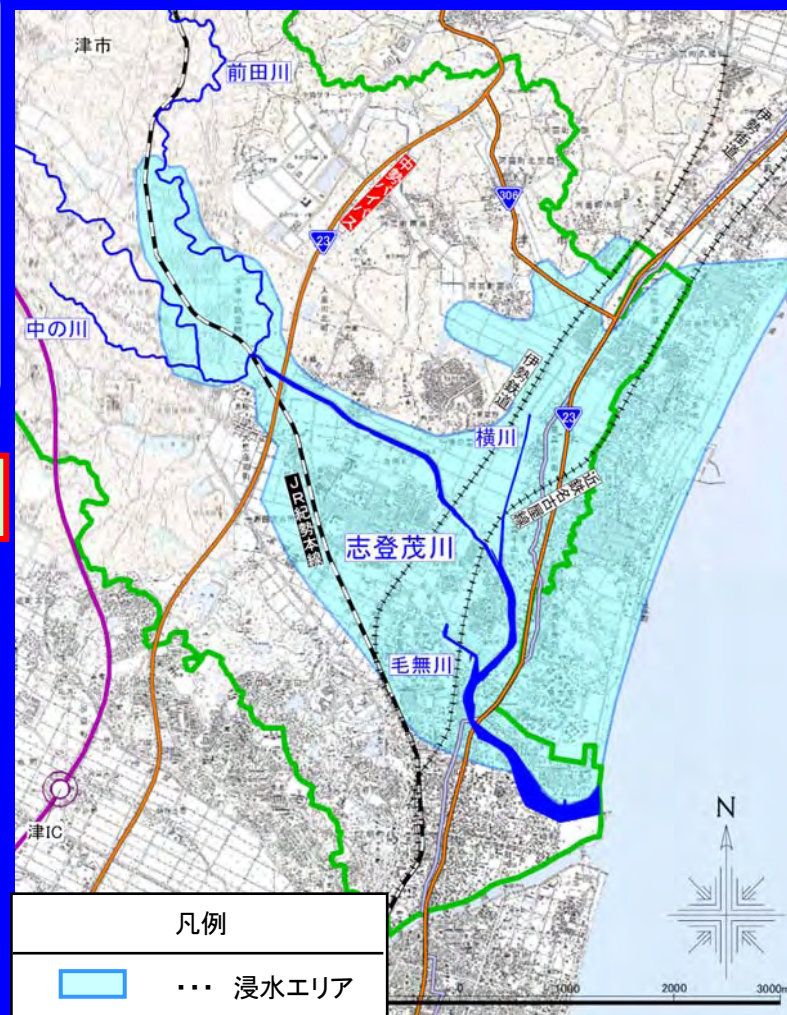
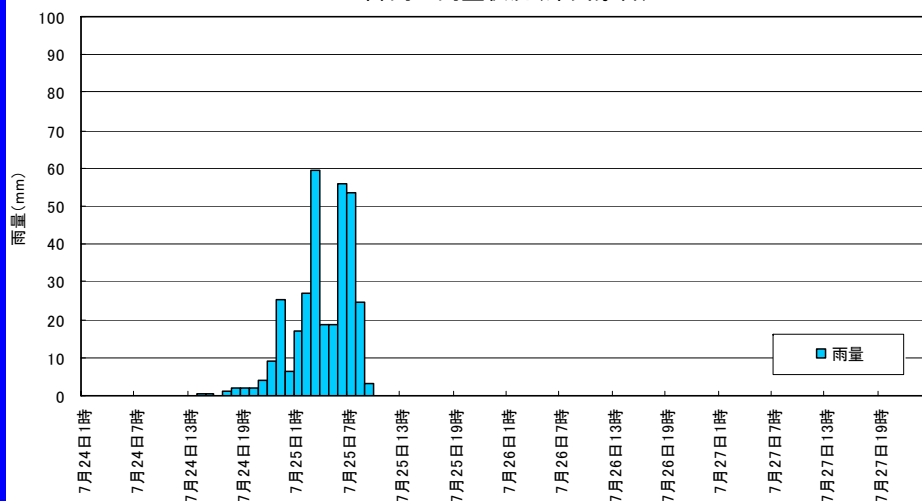
主要洪水の概要（平成49年7月洪水）

- 集中豪雨により、破堤、溢水、内水による浸水被害が発生
- 下流域から中流域にかけて広い範囲が浸水

- 水害原因：志登茂川の溢水、毛無川・前田川の破堤、横川の内水、その他溢水および内水
- 水害面積：約1,500ha
- 床上浸水：779戸
- 床下浸水：3,139戸

最大時間雨量：59.5mm 津气象台

S49.7 降雨の雨量状況(津气象台)



志登茂川水害訴訟の経緯

- 昭和49年7月24日からの集中豪雨により、志登茂川が溢水し、一身田地区等において床上浸水などの被害が発生
- これに対し、浸水被害を受けたのは志登茂川の管理に瑕疵があったためであるとして、被災者らにより、国及び三重県に対して損害賠償を求める訴訟が起された
- 平成5年3月26日に最高裁判所による判決が下り、国等勝訴にて結審

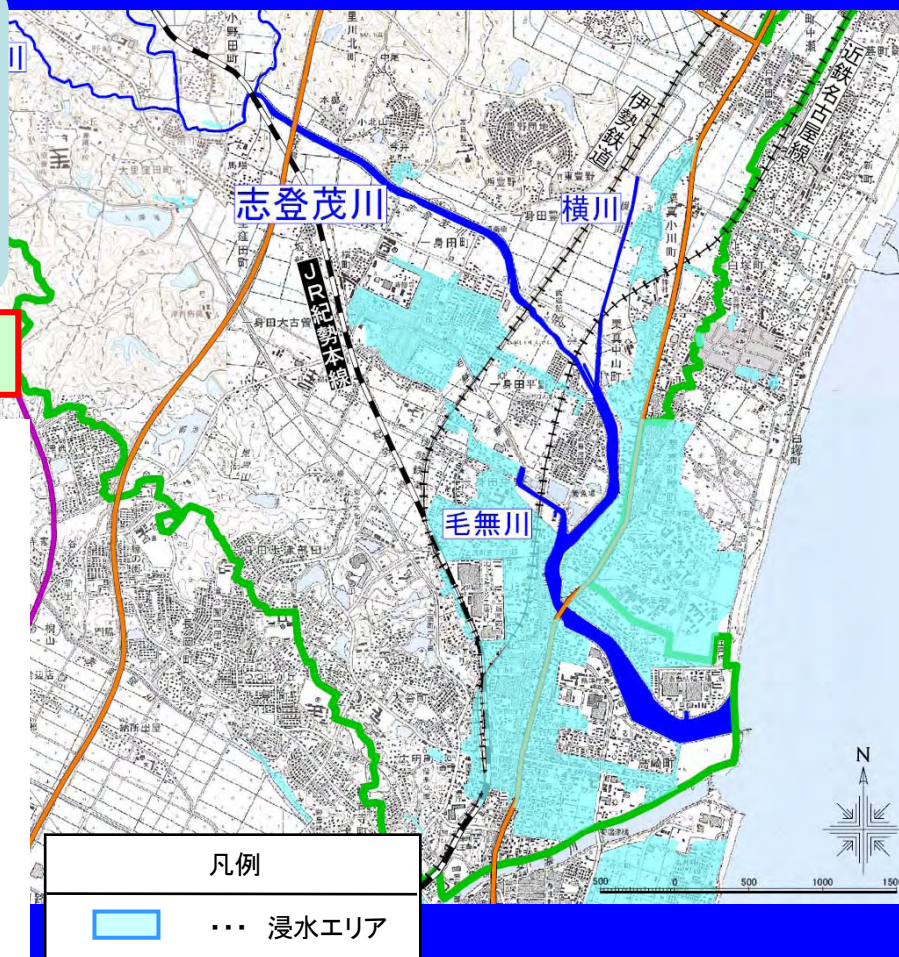
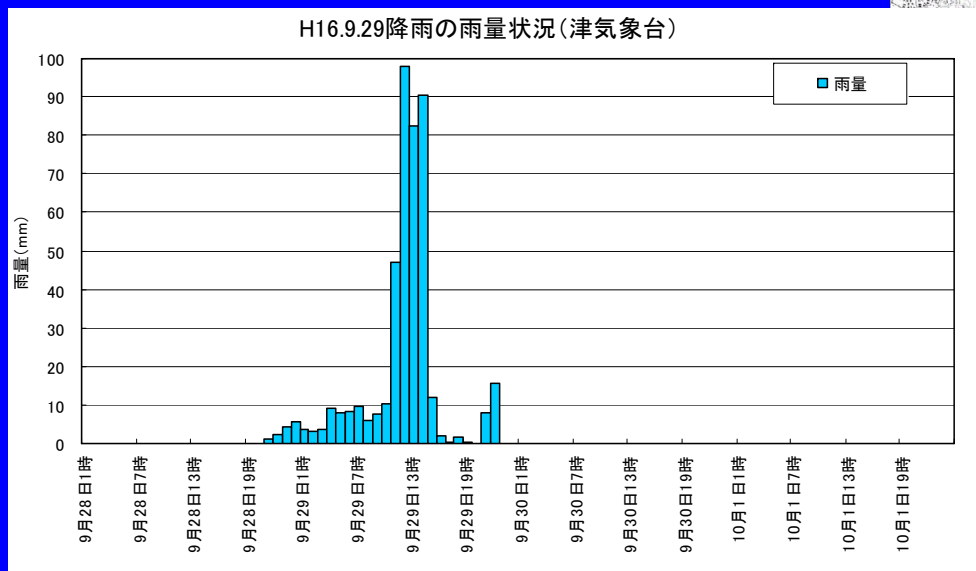
S49.7.25	水害発生	
S50. 7.25	提訴	(原告310名 訴額2億7,599万円)
S56.11. 5	一審判決	国等敗訴 (認容額8,426万円)
S56.11.17	控訴	(原告210名 訴額2億3,120万円)
H 1. 3.29	二審判決	国等勝訴
H 1. 4.12	上告	(原告81名 訴額8,217万円)
H 5. 3.26	最高裁判決 結審	国等勝訴

主要洪水の概要(平成16年9月29日出水)

- 台風21号により、内水による浸水被害が発生
- 下流域で広い範囲が浸水

- 水害原因：内水
- 水害面積：約1,048ha
- 床上浸水：797戸
- 床下浸水：1,749戸

最大時間雨量：98mm 津气象台



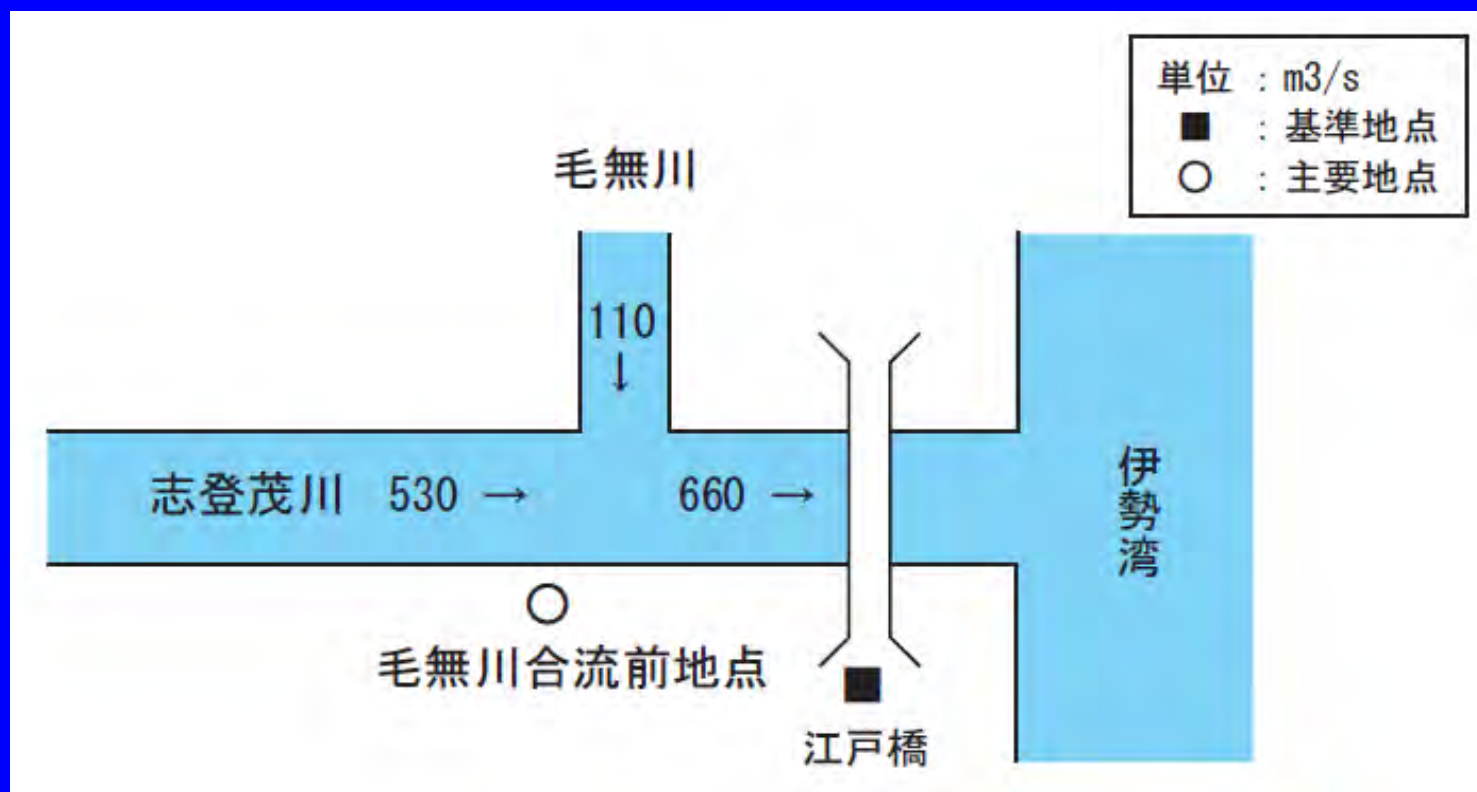
現行計画(工事実施基本計画)

- 平成9年11月に認可

➤ 計画規模 $W=1/100$

➤ 計画高水流量 $660\text{m}^3/\text{s}$

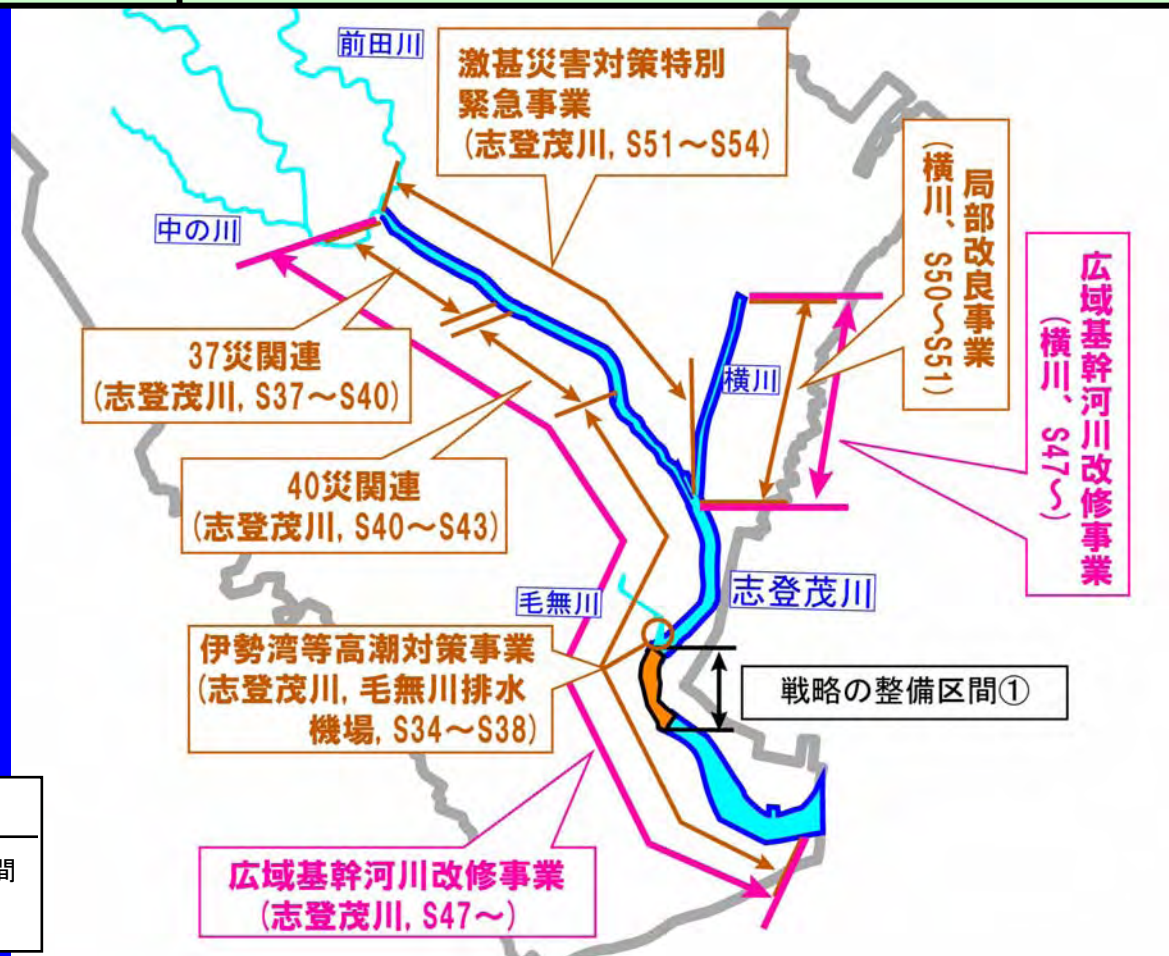
(基準地点：志登茂川・江戸橋地点)



整備状況

- ・ 三重県河川整備戦略では、今後15年間に事業を実施する箇所を定めている
- ・ 広域基幹河川改修事業(S47～)は、事業費47%、用地取得66%の進捗率

整備区間	延長(km)	整備規模	整備方針
①	0.8	暫定	ネック点である市道江戸橋と国道23号橋梁の改築と上下流の期間内完成を目指す



凡例	
	… 暫定改修済区間
	… 未改修区間

現況(志登茂川:下流部)

市道江戸橋橋梁
(流下能力ネック地点)



国道23号線江戸橋橋梁
(流下能力ネック地点)



河口付近



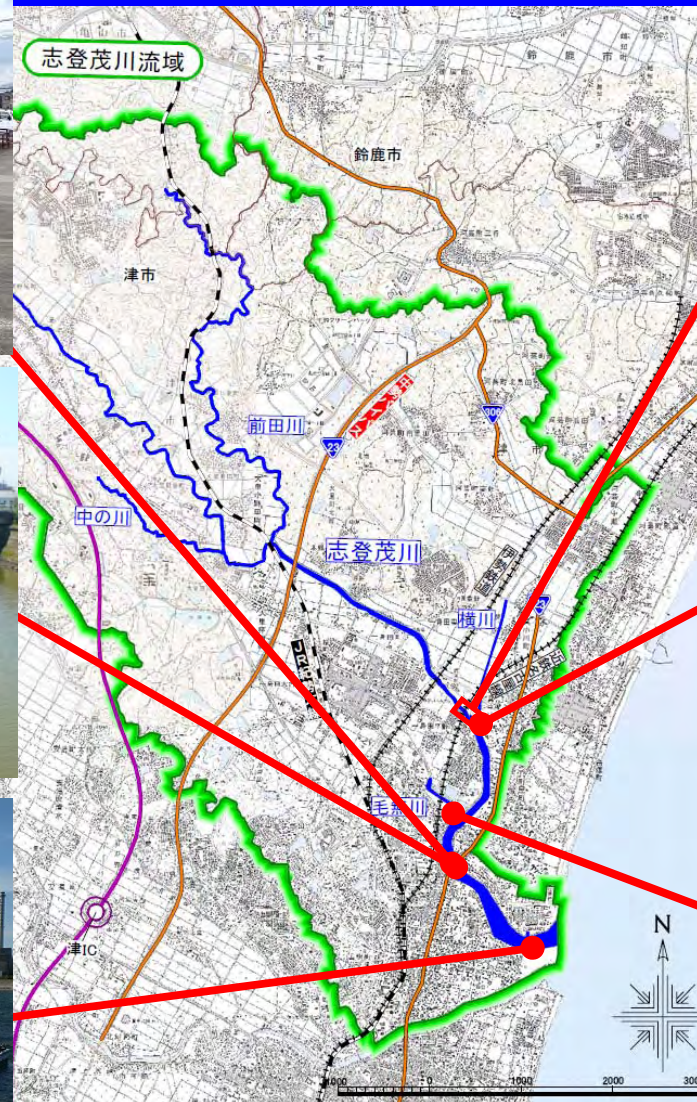
近鉄橋梁
(流下能力ネック地点)



横川防潮樋門

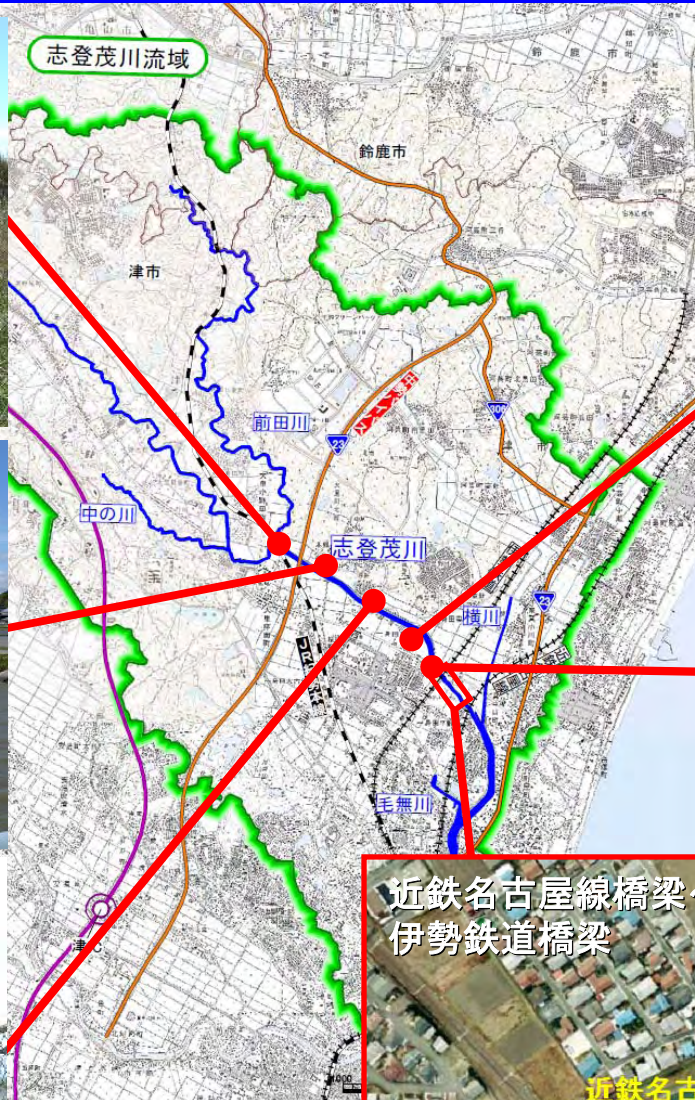


毛無川高潮水門



現況(志登茂川:中流部)

JR橋梁



平野防潮水門



大里川北町 川北橋上流



伊勢鉄道橋梁



今井井堰



近鉄名古屋線橋梁～
伊勢鉄道橋梁



現況(志登茂川:上流部)

横山池(芸濃町棕本)



大里睦合町 林崎橋下流



芸濃町棕本 志登茂川橋下流



高野尾町 里中橋上流



現況(支川:毛無川、横川)



横川(栗真小川町 廻向橋下流)



横川(近鉄名古屋線橋梁)



現況(支川:前田川、中の川)



河川環境(植生)

【志登茂川:上流】

・河床は砂州と植生が見られ、ツルヨシなどが繁茂



【志登茂川:中流】

・ツルヨシやエノキなどが繁茂



【横川】

・法面にヨモギなどが繁茂



【志登茂川:下流】

・植生はほとんどなく、干潮時は干潟が出現



河川環境(魚類)

【上流域】

- ・オイカワ、トウヨシノボリが多い。
- ・ヤリタナゴ、アブラボテ、カネヒラなどの貴重種を確認
- ・ブルーギル、オオクチバスなどの外来種を確認



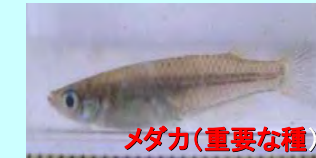
【外来種】

- ・ブルーギル、オオクチバス、カダヤシなどを確認



【中流域】

- ・オイカワ、トウヨシノボリが多い。
- ・ウナギ、メダカなどの貴重種を確認
- ・ブルーギル、カダヤシなどの外来種を確認



【下流域(感潮域)】

- ・マハゼやボラが多い。
- ・ウナギ、ヒモハゼ、エドハゼなどの貴重種を確認



- 平成19年度に実施された調査では44種を確認。汽水域選好種が豊富
- 貴重種は、ヤリタナゴ、アブラボテ、カネヒラ、ウナギ、メダカなどを確認
- ブルーギル、オオクチバス、カダヤシ、カムルチーなどの外来種も確認

今後の予定

平成21年10月（予定）

第1回流域懇談会

- ・ 河川及び流域の概要
- ・ 治水・利水・環境の現状



平成22年1月（予定）

第2回流域懇談会

- 整備区間の設定
- 整備区間の治水・利水・環境の目標及び手法等の設定

平成21年11月（予定）

流域委員会

- ・ 整備区間の設定
- ・ 整備区間の治水・利水・環境の目標及び手法等の設定



平成22年3月（予定）

流域委員会

- ・ 河川整備計画原案の討議